

木村俊介 Concert

ゆめ み つき うたげ 夢見月の宴 今、奏でたい音～古今東西の名曲とともに

朝の来ない夜は無い。春の来ない冬は無い。
そう自分に言い聞かせて耐え忍ぶ時期もありますが、
夜には夜の、冬には冬の良さがあつたと後から気づくこともしばしば。
今だからこそ感じられる、「当たり前」の愛おしさ、尊さ、美しさを、
生田さち子さんの彩り鮮やかなピアノに乗せてお届けできたらと思います。
"今だけ"のゆとりのある客席で、ゆったりとお楽しみ頂ければ幸いです。



笛・三味線 木村俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸30カ国以上の音楽祭に招聘出演している。

- '15年 ◆演劇倶楽部「座」公演『ひやめし物語・ちゃん』(壤晴彦演出)にて音楽を担当。
◆坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』(大阪松竹座)に楽曲・詞を提供。
- '16年 ◆鼓童・小島千絵子氏をゲストに自主公演『音のいる・舞のうた』開催。
- '17年 ◆ロシア『少数民族伝統芸能祭』に出演。
- '18年 ◆多彩なゲストを迎え、音楽活動30周年記念コンサート『きせき』(さいたま芸術劇場・音楽ホール)を開催。CD『きせき』リリース。
◆慶州『万波息笛 世界“笛”フェスティバル2018』(韓国)出演。
- '19年 ◆カヤグムの朴順雅氏をゲストに自主公演『半夏の夢のひらく頃』開催。
◆JAPAN HOUSE LONDON(イギリス)にて、ピアニストKit Downes氏とDUO コンサート開催。

《木村俊介 website》<http://insho.kmlw.net>

ゲスト



ピアノ 生田さち子

大阪生まれ。4歳よりエレクトーン、10歳からはピアノを始める。更にドラムを御葉袋一男氏に師事する。ヤマハ主催のJOC(ジュニア・オリジナル・コンサート)に15歳まで毎年出演し、合歓の郷にて世界各国の子供達と共演し、1981,82年のアンサンブル大会では2年連続グランプリを受賞。大学時代にジャズに目覚め、高橋俊男氏に師事し京阪神を中心にコンサート・ライブ活動を展開。
1986年10月:日本武道館に於ける第17回世界歌謡祭にパーカッションリストとしてゲスト出演。
1993年:堺青年会議所主催の環境キャンペーンのテーマソングをアレンジ、レコーディングに参加。
近年における活動は目覚しく、エディター・ヘンダーソン、オテロ・モリノ、日野皓正、土岐英史、峰厚介、川嶋哲郎、多田誠司、TOKU、大坂昌彦、原大、江藤良人、井上陽介ら世界及び日本を代表するジャズ・ミュージシャンと数多くのセッションを重ねる。
2002年4月:越智順子と共にNHK-FMセッション505に出演及びツアーにも参加。
2002年10月:初リーダーアルバム『My Language』をリリース。
2008年7月:「第1回なにわジャズ大賞」、「第45回なにわ芸術祭ジャズ部門新人賞」受賞。
2012年7月:2ndアルバム『春の風』をリリース。
現在はジャズに留まらず、持ち前の好奇心を生かしラテン、フュージョン、シャンソン、現代音楽等 幅広いジャンルにおいて非常に高い評価を得る。

《生田さち子ブログ》<https://ameblo.jp/sachiko3ikuta>

本公演は、自治体等が定める感染防止ガイドラインに則って開催されます。受付での消毒・検温、会場内でのマスク着用などのご協力をお願い致します。

※当日、体調が優れない方は来場をご遠慮ください。キャンセル料は発生しません。

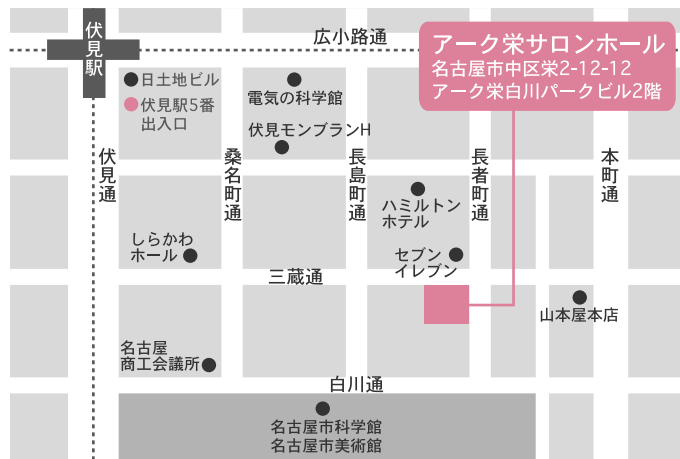
※感染拡大状況によっては定員を変更したり、公演を中止する場合があります。予めご了承ください。

＜ご予約・お問合せ＞

木村俊介 ● Email insho@sky.plala.or.jp
● fax. 048-833-7634 (9~19時)

渡辺秀男 ● tel. 090-7860-0381
● fax. 0568-77-9374

※感染防止策の一環として、紙のチケットは作りません。当日は、ご予約名簿での受付となります。入場料は、お名前を書いた封筒に入れて(釣銭のなきよう)ご用意頂き、当日、受付ボックスにお入れください。



※駐車場はありません。近隣コインパーキングをご利用ください。